

「結婚トレンド調査2018」の結果から見る挙式、披露宴・披露パーティのトレンド

挙式、披露宴・披露パーティに対する考え方が多様化。

【王道しっかり派】と【等身大ゆったり派】の2大スタイルが主流

昨年から引き続き、「感動させる」「退屈させない」など、ゲストの感情を演出で導くよりも、ありのまま、その場雰囲気ゲストと一緒に楽しみたいという意識が強まっています。しかしながら、だからと言ってそうした結婚式が現状の大半を占めるわけではなく、これまで通り、「感動させる」「退屈させない」ことも重視したスタイルは根強く、平成の終わりと共に2大スタイルが確立してたと捉えています。

【王道しっかり派】は特に「ゲスト評価」を重視する特徴があります。「ゲストを退屈させないようにしたい」「この演出をやるのが一般的」「招待客は〇〇まで呼ぶのか一般的」など、一般的な結婚式のスタイルをベースに、ゲストがどう感じるかに照準をあてて、実施内容を決定する傾向にあります。【等身大ゆったり派】の判断軸はまさに「等身大」であり、自分や自分の周りのコミュニティにとって、「実施する価値がある」「ふたりらしい」と思えるコトやものを取り入れる傾向にあると考えています。

また、【王道しっかり派】は、現状、20代でのシェアが高く、【等身大ゆったり派】は30代でのシェアが高いことも特徴として挙げられます。20代は結婚式に対するあこがれが比較的高く、また参列経験も少ないことから、一般的な結婚式と比較を重ねながら、自身の結婚式スタイルを決めていく傾向がありますが、参列経験も多く、20代よりも自身のコミュニティや価値観も確立している30代は、他者や一般論との比較ではなく、自身の価値観を軸に結婚式のスタイルを決めていく人が多いと捉えることができます。

なお、費用面においては、招待客1人あたりにかかる料理・飲み物費用は、【王道しっかり派】【等身大ゆったり派】の間で大きな差は無く、結婚式に対する考え方や内容が異なっていたとしても、ゲストに対するおもてなしの気持ちは共通していると言えます。

【王道しっかり派】 【等身大ゆったり派】の特徴

王道しっかり派

等身大ゆったり派

一般的なゲスト評価

重視ポイント

築いてきた各々の価値観

20代でシェア高い

新婦年代

30代でシェア高い

18.8千円

招待客1人あたり
料理+飲み物費用

18.5千円

※全国推計値

ゼクシィ 首都圏

編集長 平山 彩子 (ひらやまあやこ)

<プロフィール>

2008年にゼクシィ編集部へ入社。ゼクシィの編集記事制作に加え、PR・CMプロモーション、表紙や交通広告の業務を担当。2015年10月西日本エリア版編集長に、2016年より現職。現在に至る。

<取材にお答えできます>

- ・結婚式の歴史や最近の結婚式（挙式・披露宴の演出、ドレス、料理、引き出物などを含む）のトレンド。
- ・結婚するカップルや若者世代・親世代の結婚意識、恋愛観、家族観など



【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。